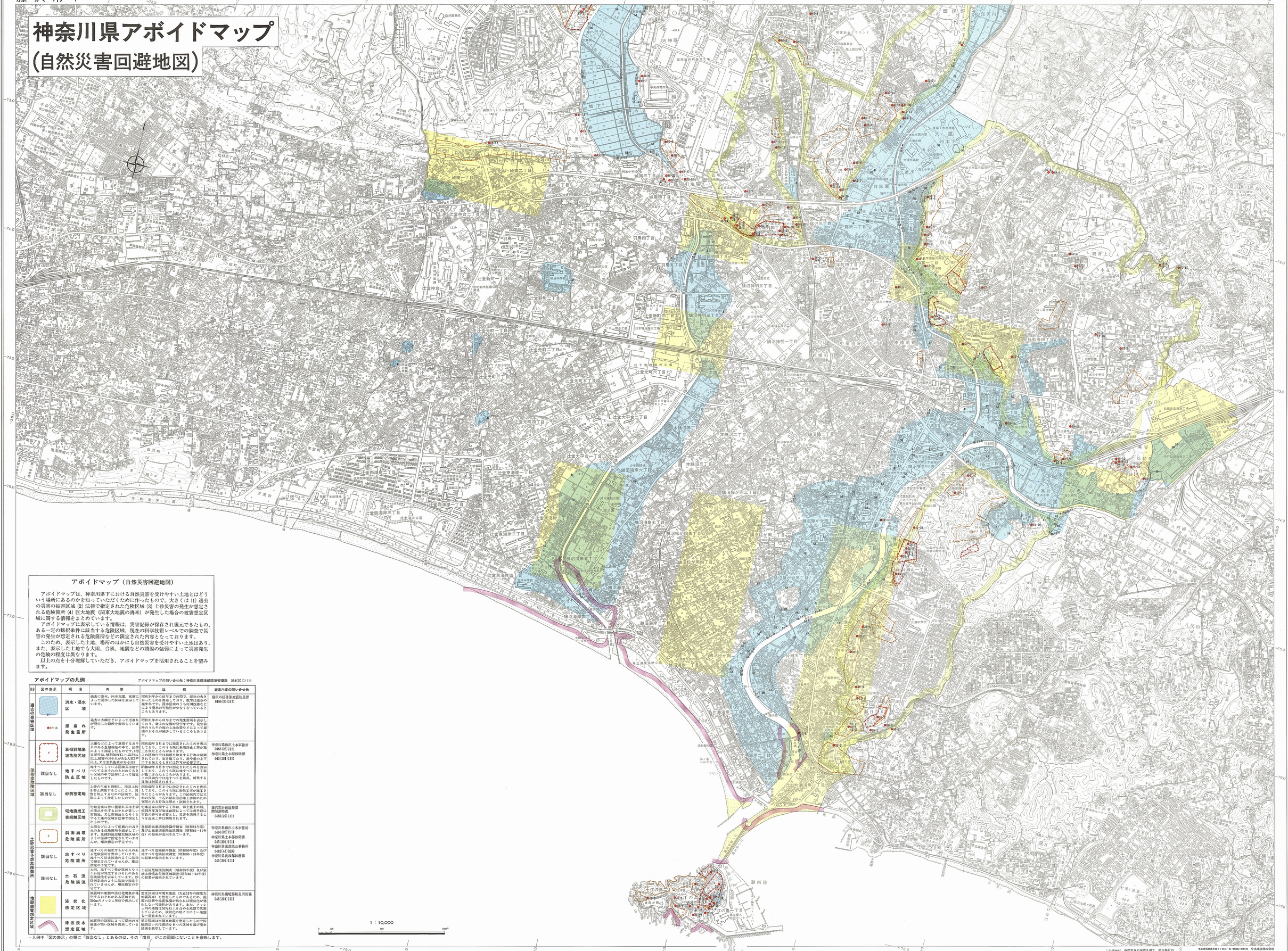
平成元年3月

藤沢市 1

神奈川県アボイドマップ
(自然災害回避地図)



アボイドマップ（自然災害回避地図）

アボイドマップは、神奈川県下における自然災害を受けやすい土地とはどういう場所にあるのかを知っていただくために作ったもので、大きくは (1) 過去の災害の被害区域 (2) 法律で指定された危険区域 (3) 土砂災害の発生が想定される危険箇所 (4) 巨大地震（関東大地震の再来）が発生した場合の被害想定区域に関する情報をまとめています。

アボイドマップに表示している情報は、災害記録が保存され復元できたもの、ある一定の経済条件に該当する危険区域、現在の科学技術レベルでの調査で災害の発生が想定される危険箇所などの限定された内容となっております。

このため、表示した土地、場所のほかにも自然災害を受けやすい土地はあり、また、表示した土地でも大雨、台風、地震などの誘因の強弱によって災害発生の危険の程度は異なります。

以上の点を十分理解していただき、アボイドマップを活用されることを望みます。

アボイドマップの凡例

アボイドマップの問い合せ先：神奈川県環境部環境管理課　045(201)1111

区分	図の表示	項目	内容	注釈	表示内容の問い合せ先
過去の被害区域	59	洪水・浸水区域	過去に田水、内水氾濫、高潮によって浸水した区域を表示しています。	昭和34年から61年までの間で、浸水の大きかったものを表示しており、数字は浸水の発生年です。浸水区域のうち河川改修などにより浸水の可能性が少なくなっているところもあります。	藤沢市経済部商工課防災係 0466(25)1111
	57-13	崖崩れ発生箇所	過去に大雨などによって崩れが発生した箇所を表示しています。	昭和34年から61年までの発生箇所を表示しており、数字の左側が発生年です。発生箇所のうちその後の土地改変などによって被害のおそれが減少しているところもあります。	
	4	急傾斜地崩壊危険区域	大雨などによって崩壊するおそれのある急傾斜地の中で、法律によって指定したものです。(指定要件は、傾斜角度が30度以上、高さ5m以上、被害のおそれがある人家5戸以上、又は公共施設がある所)	昭和44年3月までに指定されたものを表示しており、このうち現に崩壊点検工事が施工されたところがあります。この区域内では開発を抑制する行為は制限されており、宅地造成たり、盛土量の上下にて土砂流出を防ぐ工事などが必要です。	神奈川県藤沢土木事務所 0466(50)2111 神奈川県土木部砂防課 045(201)1111
法指定危険区域	該当なし	地すべり防止区域	地すべりしている区域又は地すべりするおそれがあるとして法律によって指定したものです。	昭和49年3月までに指定されたものを表示しており、このうち現に地すべり防止工事が施工されたところがあります。この区域内では地すべりを助長、誘発する行為は制限されます。	
	該当なし	砂防指定地	土砂の生産を抑制し、流送土砂を貯止調節することにより、災害を防止するための区域で、法律によって指定したものです。	昭和49年3月までに指定されたものを表示しており、このうち現に砂防工事が施工されたところがあります。この区域内では土砂の採掘、土石の採取等治山上砂防のため支障のある行為は禁止・制限されます。	
		宅地造成工事規制区域	宅地造成に伴い農耕地又は土砂の流出を生ずるおそれが著しい市街地、又は市街地となろうとするような地の区域を法律で指定したものです。	宅地造成に関する工事は、切土盛土の勾配角度及び造成面積によっては着手前に市長の許可を必要とし、災害を誘発するような造成工事は制限されます。	藤沢市計画建築部開発調整課 0466(25)1111
土砂災害予想危険箇所	9	斜面崩壊危険箇所	大雨などによって崩れるおそれのある危険箇所を表示しています。急傾斜地崩壊危険区域のように法律で指定されていませんが、順次指定の予定です。	急傾斜地崩壊危険箇所調査（昭和48年度）及び急傾斜地崩壊危険区域調査（昭和50・51年度）の結果が表示されています。	神奈川県藤沢土木事務所 0466(50)2111 神奈川県土木部砂防課 045(201)1111 神奈川県東部治山事務所 0463(48)0239 神奈川県農政部林務課 045(201)1111
	該当なし	地すべり危険箇所	地すべりの発生するおそれのある危険箇所を表示しています。地すべり防止区域のように法律で指定されていませんが、順次指定の予定です。	地すべり危険箇所調査（昭和50年度）及び地すべり危険区域調査（昭和50・51年度）の結果が表示されています。	
	該当なし	土石流危険渓流	大雨、地すべり等の発生によりたれ流が発生するおそれのある危険渓流を表示しています。砂防指定地のように法律で指定されていませんが、順次指定の予定です。	土石流危険渓流調査（昭和55年度）及び沿地土砂流出危険区域調査（昭和50・51年度）の結果が表示されています。	
地震被害想定区域		液状化想定区域	地震時に地盤の液状化現象が発生するおそれがある区域を約500mのメッシュ単位で表示しています。	想定区域は南関東地震（大正12年の関東大地震再来）を想定したものであるため、震源の位置や地質構造の異なればこの限区化が発生しない可能性があります。また、メッシュ内の地盤は50万以上とされる地質で代表しているため、液状化の起こりにくい地盤も一部含まれています。	神奈川県環境部防災消防課 045(201)1111
		津波浸水想定区域	地震時の津波によって浸水の可能性が高い区域を表示しています。	想定区域は南関東地震を想定したもので関東地震沿いの代表的なケースの区域を選び浸水区域を表示しています。	

・凡例中「図の表示」の欄に「該当なし」とあるのは、その「項目」がこの図面にないことを意味します。

不許複製　神奈川県環境部環境管理課

この地図は、横浜市長の承認を得て、横浜市の1万分の1地形図を複製したものである。
東京都知事認可 昭和61年1月 中央地図株式会社